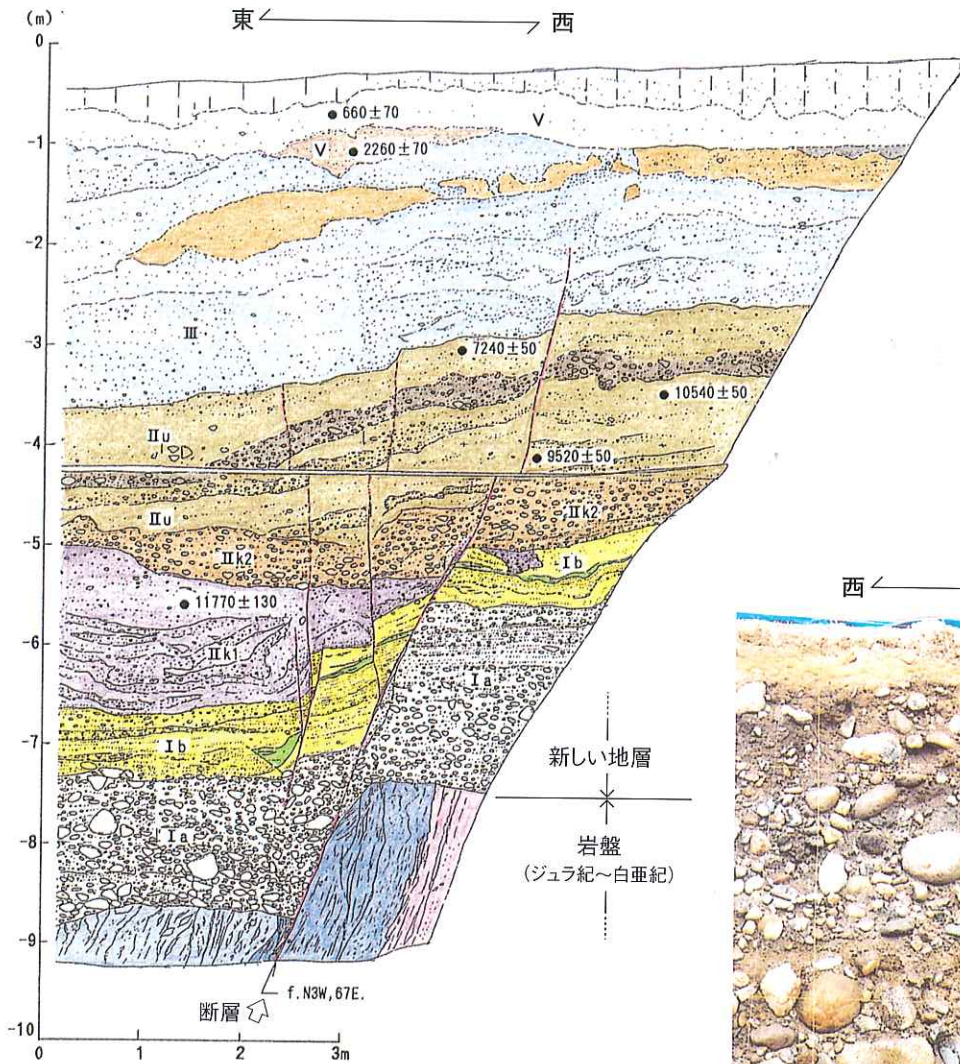


## 将来の活動について

本断層では、原町市大原以北の10数km区間で将来の断層活動が想定され、その地震規模は1回の変位量(1.5m~1.6m)からマグニチュード7.0と算出されます。

この規模の地震の発生に関しては、断層の活動間隔が約7500年~約10000年であり、最新の活動時期が約2000年前であることから、次の地震が差し迫っている可能性は低いと考えられます。

また、原町市大谷以南では、双葉断層は近い将来活動するおそれはなく、起震断層として考慮する必要がないと判断されます。



鹿島町栃窪のトレンチ南壁面のスケッチ

●  $^{14}\text{C}$ 試料採取位置及びその年代値(約年前)



鹿島町栃窪のトレンチ北壁面の写真